

皆さんはこれからも家族の一員

学校法人 大阪工大撰南大学
理事長 坂口 正雄

ご卒業・修了、誠におめでとうございます。

皆さんは今、人生の大きな節目を迎え、深い感慨を抱いていることでしょう。

ここにちがるのは自分自身の努力の成果ではありますが、ご家族や友人、恩師からの励ましと導き、支えによるものであります。記念の門出を機に、感謝の気持ちを新たにし、こうした方々との「きずな」をこれまで以上に大切にしていただきたいと思います。

思い起せば入学宣誓式の日、皆さんは大いなる夢と希望を抱いて学生生活をスタートさせました。そして、専門の学術・技術の習得に励み、幅広い教養も身につけてきました。インターンシップや実習、クラブ活動などでは多くの人たちと出会い、人間的に大きく成長したに違いありません。これら数々の思い出を胸に、新たな活躍の場に羽ばたこうとする姿を頼もしく思っています。

これからの中には「グローバル社会」から、誰もが暮らしやすい「ユニバーサル社会」へと進展していくことでしょう。皆さんが今後も研鑽を重ね、ユニバーサルな社会を自ら創造し、その社会でプロフェッショナルな人材として活躍されることを願っています。

学園は新しい理念として、学生、保護者、卒業生、教職員の四者を家族ととらえた「四位一体」のスローガンを掲げています。卒業後も家族の一員として母校の活用を図り、あわせて後に続く後輩への支援をお願いします。

ご健闘をお祈りいたします。



卒業は学びの始まり

広島国際大学
学長 上里 一郎



卒業おめでとう。4年間さまざまな学問や人に出会い、いろんなことを学び体験したことでしょう。先生方からは、“みんな見違えるほど成長しました”というお褒めの言葉を聞きます。

今となっては、実習、試験、大会(試合)なども、つらい体験というよりも懐かしい想い出になっていることでしょう。やればできると自信を持ったことでしょう。この体験は大変貴重なもので、忘れないでください。人間を前進させる原動力になります。

4月からは、皆さんの多くは就職して社会へ出るわけですが、これで勉強は終わるなどと考えている人はいないでしょう。大学で学んだ最新の理論や技術も、平均して4年で陳腐化すると言われます。学んだことが古くて使いものにならなくなるのです。したがって、職業人になっても日々、研鑽を重ねなければ無用の人になりかねません。学びは、時々研修を受ければ良いという安易なものではなく、毎日計画的にしないと本物になりません。

その意味でも卒業は、学びの終わりではありません。加えて、卒業して就職するという世間の流れに追従するのではなく、“何のために働くのか”を考えることを薦めます。でなければ定年を迎えた時、自分の人生は何だったのか悩むことにもなりかねません。

最後に、卒業生の皆さんは、“自分に厳しく他者へは優しく”あってほしいと思います。まずあなたの保護者や先生へ、“長い間ありがとうございました。おかげさまで…”とお礼を言うことから始めてほしいもので

王さん
センター長

大阪YMCAに来たときはあまり日本語ができない状態でした。それで本学に入学してどうだった?

車の音ばかりで、最初は寂しくて泣きました。家族に電話してここに何もないよって。

王さん
センター長

色々な学校情報をインターネットなどで探しました。それで、この学校は授業料も半額で学生寮もあるし、生活が安心できるからここに決めました。それでプロセスがあると思うけど、何故本学に決めたのかな?

王さん
センター長

そうですね。最初は本当に何もわかりませんでした。

本日は、留学生のなかで、日本の国家資格取得を目指し、日本で仕事を見つけられた王さんに、体験談を聞かせてもらおうと思います。それではまず、いつ頃日本に来て勉強しようと思いましたか?

王さん
センター長

2001年の10月に来日し、大阪YMCAで日本語を勉強しました。1年半が経過して自分の進路を決める時に、自分は日本語がまだまだこのまま帰つては何一つ役にも立たないし、もつと勉強したい、何かを身につけたいと思い、家族や兄に何を勉強すればよいか相談しました。一番上の兄は医療関係の仕事をしており、その時「看護師を目指してはどうか」と勧められ、家族も医療関係の仕事をしていっていることもあります。親近感を覚え看護師を目指すことにしました。

王さん
センター長

本日は、留学生のなかで、日本の国家資格取得を目指し、日本で仕事を見つけられた王さんに、体験談を聞かせてもらおうと思います。それではまず、いつ頃日本に来て勉強しようと思いましたか?

王さん
センター長

2001年の10月に来日し、大阪YMCAで日本語を勉強しました。1年半が経過して自分の進路を決める時に、自分は日本語がまだまだこのまま帰つては何一つ役にも立たないし、もつと勉強したい、何かを身につけたいと思い、家族や兄に何を勉強すればよいか相談しました。一番上の兄は医療関係の仕事をしており、その時「看護師を目指してはどうか」と勧められ、家族も医療関係の仕事をしていっていることもあります。親近感を覚え看護師を目指すことにしました。

留学生 インタビュー

東京医科大学に内定している留学生の王 晴坤さん(看護学科4年)。2001年に初めて4年間学業に精励し、YMCAで本学で看護師の資格を取得し、卒業を迎えた。YMCACA時代から本学に入学等を、小教業する際、林職員を交えて、インタビューしました。

センターライン
そうか最初に看護はここ(東広島キャンパス)にありますよ。だからね、山の中だしね。
今あるようなコンビニもないしね。

センターライン
勉強をはじめてみてどうでした?
王さん
はじめは、漢字の読み方や専門用語がわからなくて、辞書で調べるのにも時間がかかりました。でも友達がとてもやさしくて、聞いたらいろいろ教えてくれました。看護では実習のグループで結構勉強するので、メンバーで助け合い、わからないところは何で聞いてきました。

センターライン
就職はいつ頃から考えましたか?

王さん
3年生の時考えました。日本の病院の規模、条件などわからなかったのですが、キャリアセンターで色々教えていただきました。

センターライン
最初に大阪に来て、次に広島、そして大阪や広島での就職ではなく、何故東京で就職しようと考えたですか?

王さん
東京はやはり最前線の職場だと思ったし、東京は国際的で外国人が多いので自分が何が役に立つかと考えたとき、中国人も多い東京で、みんなが日本語を話せるわけではなく、英語も話せない時、私が中語で話しかければ患者さんは母國語を聞くだけでも安心できるし、医療手続きなども自分が通訳的な役割ができるのではないかと思いました。

王さん
センター長

東京医科大学、4月から楽しみだね。

王さん
今は国家試験に向けて猛勉強中です。
センターライン
王さんの体験をとおして後輩にアドバイスをお願いします。

王さん
とにかく日本人の友達をたくさん作って、コミュニケーションを通して日本語を勉強して欲しいです。



言葉や文化のギャップを乗り越え
見事、東京医科大学に内定。本学でたくさんの思い出がつくれたのではないかでしょうか。これからは看護師としての活躍を期待したいと思います。